広報 ひらつか
2024 7月
No.1251 第3金曜日号

家族に休息を

4月から始まった市の「医療的ケア児在宅レスパイト（休息）事業」。看護師が自宅に訪れて、医療的ケアや見守りをすることで、家族に休息の時間などを作ってもらうための支援だ。

「圭ちゃん、指に触らせてね」。看護師の中島美華さん（左）が、少し眠たそうな井上圭太さん（仮名）に声を掛ける。医療器具を圭太さんの指に付け、バイタル（心拍数・呼吸・血圧など）を確認していた。

目次

1～3面…特集 医療的ケア児と暮らす…日常的に呼吸の管理やたんの吸引、経管栄養などが必要な医療的ケア児。市と関係機関が連携して取り組む、家族のレスパイト（休息）事業を紹介します。
4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉
8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」

広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 FAX0463-23-9467
●配布のお問い合わせは、ミッド ☎0120-350311（月～金曜日、午前9時30分～午後5時）

医療的ケア児と暮らす

小児医療の進歩とともに、全国的に増えている「医療的ケア児」。新生児特定集中治療室などに長期入院した後も、自宅での医療的ケアが日常的に必要な児童だ。休むことなく続く世話は、家族の心身に大きくのしかかる。地域の中で安心して子どもと生活するために、今、家族が求める支援とは――。

問　こども発達支援室くれよん☎32-2738

増える支援の選択肢

「子どもの命に関わるので、24時間目が離せない」「きょうだいとの時間が取れない」

医療的ケア児と生活する家族の切実な声が、市こども発達支援室くれよん（追分1―43）や、相談支援専門員のいる事業所に寄せられる。人工呼吸器による呼吸管理やたんの吸引、直接胃に栄養を注入する医療措置（胃ろう）を使った経管栄養などの医療的ケアは、子どもが成長してもなくなるわけではない。成長段階や家庭によって悩みはさまざまだ。市こども家庭課の池田健人主任（左写真）は、「市では関係機関の協力もあり、医療的ケア児の家族が利用できる福祉サービスの選択肢が増えています」と話す。

希望の声と現場の課題

市は平成30年度から、関係機関や医療的ケア児の家族を含めた分科会などを開いている。意見交換をしながら支援の拡充につなげている。

その中で、まず運用に変化があったのが「放課後等デイサービス（放デイ）」（左囲み）だ。1カ月に利用できる放デイの基本支給量は、小学生が10日、中学生・高校生が15日となっていて、要件によって増えることがある。以前は保護者の就労状況が、主な要件だったため、「子どもの障がいの程度にも考慮して、支給量を増やしてほしい」という要望が分科会で上がっていた。池田主任は「医療的ケア児を受け入れられる事業所も限られていたので、支給量だけをすぐに上げることはできませんでした」と当時を振り返る。

切実な思いに応える

しかし厳しい状況の中、事業所は家族の声に応えた。令和5年4月に、「こどもセンター　すくすくばあす」が広い場所に移転し、受け入れ人数を拡大。「先陣を切って協力してくれた事業所の存在は、本当に心強かったです」と池田主任は感謝する。

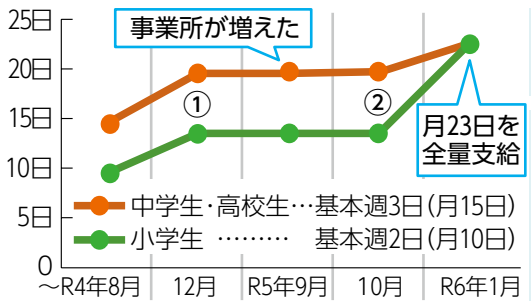
9月には「放課後デイGranny（グラニー）平塚」ができ、市内で医療的ケア児を受け入れられる事業所数が増えた。「受け入れ枠の拡大に伴い、市も医療的ケア児らの支給量を、国の定める原則月23日の上限まで、段階的に増やすことができました」（右グラフ）。

広がる放デイの用途

医療的ケア児の送迎の有無など、利用できるサービスは事業所によって変わる。「土曜日も使える事業所が増えた効果は大きかったです」と池田主任。「きょうだいの運動会に、初めて参加できたという喜びの声がありました」。

また、かねてニーズの高かった入浴支援が二つの事業所で始まり、放デイで利用できるサービスが増えた。「入浴支援を使うと、家に子どもが帰ってきたら寝るだけの状態なので助かる」と、利用者からも好評だ。池田主任は「放デイをはじめとした、多岐にわたる支援を、必要としている方に届けられるように、今後も力を入れて支援体制（下囲み）を整えていきたいです」と背筋を伸ばす。

医療的ケア児らの放課後等デイサービス 1カ月の支給量



①基本支給量（週2・3日）＋1日に増加。月で4・5日多く使えるようになった。

②①に加えて、週の利用回数に上限のない全量支給に変更。週2日（月・木曜日利用）の場合、今年の6月は8日しか使えないが、残りの2日を別の曜日で使えるようになった。

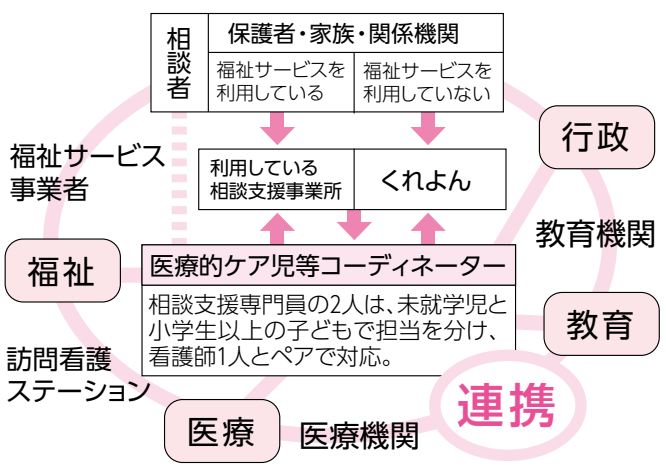
医療的ケア児を受け入れている 放課後等デイサービス

放課後や長期休みなどに子どもが自分でできることを増やせるように過ごす、療育の場を提供しているサービス。医療的ケア児を受け入れている事業所は市内に4カ所ある（表）。利用調整はくれよんでしている。

事業所名	医療的ケア児の送迎	土曜日の利用	入浴支援
こども通園センター すくすくばあす　徳延590-1	あり	なし	あり
放課後等デイスプラウト　北豊田510-3	なし 通常の送迎はあり	あり	なし
ワンステップスマイル 徳延教室　徳延753-3-201	なし 通常の送迎はあり	あり	なし
放課後デイGranny平塚 （重症心身障がいの判定が必要）徳延657-1	あり	あり	あり

（左）土曜日に放課後デイGranny平塚で過ごす圭太さん（1面）。看護師が寄り添い体調を確認している（右）同事業所の入浴設備。座ったままシャワーできる専用の椅子（写真）の他、座ったまま椅子を浴槽に移動できるリフトも用意されている

平塚市の支援ネットワーク



地域での生活をコーディネートした例

Aくんは感染症にかかったまま退院することになった。相原さんは関係機関が集まる場で、地域での生活を検討した。相談支援専門員にはない感染症の知識もある看護師がペアにいたことで、対策をして利用できる支援につなぐことができた。

地域の応援団とつなぐ

医療的ケア児等コーディネーター
相原朗子（さえこ）さん

「相談支援専門員として10年、今まで聴いてきた家族の声が切実で、状況を何とかしたいという思いがずっとありました」

相原さんは、令和5年4月に3人設置された市の「医療的ケア児等コーディネーター」の1人。関係機関と連携して、多岐にまたがる支援の調整を担っている（左図）。「多くの機関や人に頼ってもらい、子どもを知ってもらうことでたくさんの応援団ができていきます」と相原さん。「困り事はまず、身近な専門家や市に相談してみてください」と呼び掛ける。

市のコーディネーターは相談支援専門員と看護師がペアで動く。相談支援専門員は未就学児と小学生以上の子どもで担当を分けて対応している。「新規の相談があったとき、年齢に合った制度や福祉サービスの提案と、医療面の不安やケアの悩みの両方に、具体的に対応できる体制は平塚の特徴であり強みです」。2職種のタッグで実現した支援もあった（左例）。少しずつ認知が進み、関係機関からこまめに連絡をもらえるようになっている。

相原さんは2カ月に1回の市との定例会で、さまざまな現場の声を届けている。またかねて希望の声があった、家族同士でつながれる形式の座談会を提案し、7月上旬に実現させた。「今後もより多くの支援を把握し、家族のニーズに合う支援をコーディネートしていきます」。

圭太さんの放課後に密着

6月21日の午後3時30分ごろ、ケア付き通学支援で帰宅した圭太さん。「おうちに着いたよ」と看護師の中島さんが声を掛ける。訪問介護が来るまでの1時間30分が、この日の在宅レスパイトだ。中島さんは「本人にとって『心地よいこと』や『遊び』は何かをよく観察して、次の支援につなげています」と話す。4回目となる今回、圭太さんは眠ったり手遊びしたり、リラックスして過ごしていた。

①バギーで乗れる車両で帰宅
②聴診器で胸の音を聞くなどして体調確認
③体調を記録
④導尿（排尿のケア）後、ごはんを準備
⑤約40分かけて胃ろうで経管栄養。全てのケア内容は、念入りに家族と事前の調整をしている
⑥中島さんへ楽しそうに笑顔を向ける圭太さん

安心して任せられる

医療的ケア児の通学も、家族の負担の一つだ。「通学前の医療的ケアに2時間、登校時の学校と家の往復で1時間かかってしまうので、本当に大変です」と医療的ケア児の通学の苦労を語るのは、井上洋子さん（仮名）。息子の圭太さんは、移動にバギー（障がい児用の車椅子）が必要で、スクールバスなどで首や腰が不安定な子どもが乗る車椅子での通学ができない。子どもによっては、10分間で2回以上、たんの吸引が必要な場合もある。「通学の時間は決まっているので、仕事へ始業時間に出勤するのが厳しくなってしまいます」。こうした家族の負担を減らそうと、令和4年度から県と市で始まったのが「医療的ケア付き通学支援」だ。看護師が同乗するので、家族も安心して任せられる。県と市で運用の違いはあるものの、用途に合わせて両方を使う人が多い。「通学支援のおかげで少し楽になりました。市の通学支援は、下校時も使えるので助かっています」。

組み合わせて使える

選択肢が増えた医療的ケア児の福祉サービスに、令和6年度から、「在宅レスパイト」が加わった。看護師が自宅に訪問して、医療的ケアの提供や介助をする。訪問看護と違い、依頼したケアをするだけでなく、「見守り」ができる。洋子さんは必要に応じて、複数のサービスを組み合わせて使っている（左囲み）。「皆さんにお願いして、自分の時間をうまく取れるようになりました」と笑顔で話す。

特に助けになっているのは、下校時のケア付き通学支援と在宅レスパイトの組み合わせだそう。「自分が家にいなくても、平気な時間ができるのでも助かります」と洋子さん。「在宅レスパイトは、1年間で上限48時間を30分単位で細かく使えるので、他の支援と組み合わせやすいです」と続ける。

市のケア付き通学支援と在宅レスパイトを担っている「ナスクル」の看護師、中島美華さん（上写真④）は「家族だけで全てをするのは本当に大変です。私にできる支援で、家族の手を少しでも離れる時間を作れたらと思います」と話す。在宅レスパイトは6月から、新たに2事業所が支援に加わった。

諦めなくてよい環境

洋子さんは今後を見据え、本年度から専門学校に通い始めた。医療的ケア児等コーディネーターらに相談しながら、各関係機関が方法を考え、実現したチャレンジだった。「医療的ケアと週6日の仕事、専門学校とで大変ですが、皆さんの応援があるのでがんばれています」。

医療的ケア児との暮らしを、いつも走っているような感覚だと表現する洋子さん。圭太さんとの生活を思い返し、今後の支援への切実な思いを語る。「フルタイムで働くことや、きょうだいとの時間を、家族が諦めなくてよいように、支援がもっと充実していくと良いですね」。

困りごとや悩みに寄り添って、必要な支援と結び付けることで増える、医療的ケア児と家族の「できる」。家族が安心して平塚で暮らせるように、「もっと早く知りたかった」とならないように、支援ネットワークづくりは続く。

生活に支援を組み込む

便利な通学・在宅支援

ケア付き通学支援　登校時は自宅～学校、下校時は学校～自宅の区間で利用できる。下校時に事業所を利用する場合は、学校～事業所も使える。

在宅レスパイト　看護師が自宅に訪問して、医療的ケアの提供や見守りをする。

圭太さんは、1日各6回の導尿と経管栄養などの医療的ケアが必要。洋子さんは、自身が自宅にいない時間のケアを、複数の支援に任せている。

例A　平日の午後3時～5時、下校時の通学支援と在宅レスパイト（上写真）。5時～7時、訪問介護による入浴支援。

例B　平日の午後3時～5時、放デイ（学校・自宅の送迎あり）。5時～7時、訪問介護による入浴支援。

例C　下校時のケア付き通学支援からの宿泊支援。

まずはくれよんに相談

医療的ケア児と家族の福祉サービスを、計画的に利用できるように「計画相談支援」で、くれよんがサポートする。医療的ケア児の家族に限らず、サービスを利用する全ての人が対象。市が指定する事業所にいる相談支援専門員が悩みや希望を聴き、利用したい施設との連絡調整や、定期的な計画の見直しなどをしてくれる。

「医療的ケア児ハンドブック（右）」には、今号で紹介した支援の他、助成制度や手当、宿泊支援、未就学児の通所サービスなどを掲載。市ウェブ（2次元コード）から、ダウンロードできる。

応募方法

- 募のある記事は事前に応募が必要です
- **必要事項**は郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号です
- 受付開始日の記載がない場合、**7月22日（月）午前8時30分**から、受け付けます
- メールの場合、メール@以下に、city.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください
- eの場合、電子申請システム（e-kanagawa）で応募できます。右の2次元コードからもアクセスできます
- 市役所への郵便物は、〒254-8686 平塚市役所○○課で届きます

募集

右 応募方法は

少年の主張作文コンクール

日頃の生活で感じたことや考えたこと、経験したことなどを作文にしませんか。入賞者は12月7日（土）に表彰式があります。入賞した作品は全て、作品集に掲載します。

市内在住・在学の小学校5年生～中学生。400字詰め原稿用紙2～3枚。未発表の作品に限ります。応募作品は返却しません。

募 作文に、題名・学校名・学年・組・氏名を記入し、各学校の指定する日までに、各学校へ。市外に在学の場合は、直接、9月5日（木）までに、本館1階の**青少年課**☎71―5950へ。

ミニ・ビブリオバトル

自分が読んで面白いと思った本を紹介し、参加者全員で1番読みたくなった本を決めます。

9月7日（土）午前10時～11時30分。西図書館（山下3―29―1）。小学校3～6年生8人（先着順）。紹介したい本1冊・筆記用具・飲み物。

募 電話または直接、7月20日（土）午前9時から、**西図書館**☎36―3555へ。

防災ラジオの有償配布

市内在住の方・市内事業所の代表者。200台（先着順・1世帯または1事業所につき1台）。2500円。

募 市ウェブや各公民館、本館4階の**危機管理課**☎21―9863にある応募用紙を、郵送または直接、8月1日（木）午前9時から、同課へ。e

SCN杯争奪囲碁順位戦

地域の囲碁ファンと交流し、技量を競いませんか。

9月14日（土）。勤労会館（追分1―24）。平塚市・大磯町・二宮町・中井町・大井町・松田町在住で、①は初段以上②は1～25級の方ら、各クラス32人（抽選・19級～25級戦は24人）。

①順位戦　午前9時45分開会。2000円、高校生以下1000円。

②級位認定戦　午後0時45分開会。1000円、高校生以下500円。

募 **必要事項**・段級位・参加種目（①または②）・年齢・高校生以下は学校名を、はがきで、7月20日（土）～8月20日（火）に、〒254―0045見附町31―10**まちづくり財団文化事業課**☎32―2237へ。同財団ウェブでも応募できます。

馬入水辺の楽校（がっこう）　生きものの調べの会

7月27日（土）午前9時～午後0時30分。雨天中止。相模川河川敷の馬入水辺の楽校風車前に集合。小学生以上の方10人（抽選・小学生は保護者同伴）。帽子・軍手・筆記用具・飲み物。1000円、小・中学生600円。

募 代表者の**必要事項**・全員の氏名と年齢を、はがき・メールで、7月20日（土）～23日（火）に、〒257―0007秦野市鶴巻156**湘南いきもの楽校の露木**☎77―0295メールmasami2025z@yahoo.co.jpへ。

就活応援　保護者相談

7月23日、8月13日・27日の火曜日、午前10時・11時・午後1時・2時・3時（各時間帯50分）。勤労会館（追分1―24）。15～49歳で仕事を探している方の家族、各時間帯1組（先着順）。

募 電話で、**県西部地域若者サポートステーション**☎0465―32―4115へ。

陸・海・空の自衛官

一般幹部候補生など。詳しくは、お問い合わせください。

募 **防衛省・自衛隊**ウェブで応募してください。問い合わせは自衛隊平塚地域事務所☎22―5547へ。

お知らせ

木造住宅の耐震改修工事の補助額を上乗せ

昭和56年5月31日以前に建てられた、木造住宅の耐震改修工事の補助上限額を、令和7年度まで120万円（非課税世帯は160万円）に増額します。補助を受けるには、事前に耐震診断（全額補助）と耐震改修設計（補助上限額7万円）が必要です。申請期間など、詳しくはお問い合わせください。

問 **建築指導課**☎20―8860

屋外公園プールを開きます

7月29日（月）～8月18日（日）。おむつをしている幼児は利用できません。

湘南海岸公園プール（高浜台32―1）　午前9時～午後4時。250円、小・中学生100円。

大神公園プール（大神5―2336）　午前10時～午後3時。市内在住の方。

問 **みどり公園・水辺課**☎21―9852

CO2（コツコツ）プランに取り組みませんか

家庭生活から二酸化炭素の排出を減らすための取り組みです。市ウェブや各公民館などにあるリーフレットから取り組むメニューを選び、eで宣言してください。受付期間は7月18日（木）～12月8日（日）です。宣言した方の中から抽選で、地場産品などをプレゼントします。

問 **環境政策課**☎21―9762

マジックショーを楽しみませんか

マジシャンの三志郎さんによるマジックショーです。

8月3日（土）午前11時～11時30分。ひらしん平塚文化芸術ホール（見附町16―1）。

問 **ひらしん平塚文化芸術ホール**☎20―9273

八幡山の洋館　遊館日

8月21日（水）。各回1時間。旧横浜ゴム平塚製造所記念館（浅間町1―1）。各回60人（当日先着順）。

フルート&ピアノアンサンブル ミュゲコンサート　午前11時開演。

長尺管による日本の音・癒し

ひらつか匠（たくみ）の店 認定店になりませんか

高い技術で傘を作る認定店のこばり

伝統の技や独自の技術を生かして、商品やサービスを販売・提供している店舗を認定します。9月に1次審査、10月上旬に2次審査があります。

選考。次の条件を全て満たす店舗。①市内に店舗があり、営業年数がおおむね10年以上②伝統の技や独自の技術、商品を店舗で公開し、来店者に説明できる③後継者の見込みがある、または後進の指導育成に意欲がある―など。詳しくは、お問い合わせください。

募 市ウェブや本館5階の**商業観光課**☎35-8107FAX35-8125メールshokan@にある申請書に顧客10人の推薦状を添えて、郵送・ファクス・メールまたは直接、7月19日（金）～8月16日（金）に、同課へ。

夏休みの2日間、ワークショップのお祭りを開きます。

美術館であそぼ！

2024.8.3（土）- 8.4（日）

午前10時～午後3時

（正午～午後1時を除く）

子どもも大人も楽しめる、大規模なワークショップイベントです。作家や中学生・高校生ボランティアによる工作のワークショップの他、対話による美術鑑賞の体験など、さまざまなプログラムを楽しみませんか。

雨天決行。美術館（西八幡1-3-3）。事前予約が必要なプログラムは、美術館ウェブで、7月24日（水）～31日（水）に応募してください。詳しくは、同館ウェブをご覧ください。

問 美術館☎35-2111

市政情報は市公式のSNSでも配信しています

2次元コードからご確認ください

Facebook　Instagram　LINE

夏休みは図書館を楽しもう

北・西・南図書館の臨時開館

市内の小・中学校の夏休みに合わせて、7月22日(月)～8月31日(土)は月曜日も開館します。

問　北図書館☎53-1232、西図書館☎36-3555、南図書館☎21-3080

なぎさ絵手紙の会　作品展

7月22日(月)～8月31日(土)、午前9時～午後6時。南図書館(袖ケ浜20-1)。

問　南図書館☎21-3080

ちょこっとボランティア

書架整理などを体験できます。

7月23日～8月27日の火曜日、午前9時30分～正午のうち30分間。北図書館(田村3-12-5)。小学生以上の方(小学生は保護者同伴・当日午前9時～11時30分に同館で受付)。

問　北図書館☎53-1232

中学生・高校生ボランティア

ボランティア活動証明書がもらえます。

7月23日～8月27日の火曜日、午前10時～10時45分。西図書館(山下3-29-1)。市内在住・在学の中学生・高校生、各日5人(当日先着順・当日午前9時～10時に同館で受付)。飲み物。

問　西図書館☎36-3555

平和映画会

世界で読み継がれているベストセラー『アンネの日記』を上映します。

8月12日(休)午前10時(123分の上映)。中央図書館(浅間町12-41)。50人(当日先着順・未就学児は保護者同伴)。

問　中央図書館☎31-0415

子ども映画会

16ミリフィルムの子ども向けアニメ映画を上映します。

午前9時30分～10時10分。西図書館(山下3-29-1)。小学生以下、各日50人(当日先着順・未就学児は保護者同伴)。

①8月5日(月)。『10ぴきのかえるのなつまつり』②12日(休)。『ちいちゃんのかげおくり』③19日(月)。『ミッキーマウスと魔法の帽子』『ミッキーマウスのキャンピングカー』。

問　西図書館☎36-3555

やしの音　午後2時開演。

問　旧横浜ゴム平塚製造所記念館☎35-7114

3館コラボ　知りたいものいっぱい！

美術館(西八幡1-3-3)・中央図書館(浅間町12-41)・博物館(浅間町12-41)を巡って、クイズとスタンプラリーに挑戦しませんか。クイズの答えとスタンプをそろえた中学生以下の方は、各館の缶バッジがもらえます。

8月1日(木)～28日(水)。スタンプの台紙は各館で配ります。缶バッジの配布期間など、詳しくは各館ウェブをご覧ください。

問　美術館☎35-2111

横浜DeNAベイスターズ　イースタン・リーグ

雨天中止。バッティングパレス相石スタジアムひらつか(大原1-1)。チケットは当日券だけで、試合開始1時間30分前から同スタジアムで販売します。1200円、4歳～中学生500円。市内在住の小学生はドリームパスポートを使うと無料で観戦できます。

読売ジャイアンツ戦　7月27日(土)午後1時試合開始。

埼玉西武ライオンズ戦　8月2日(金)午後6時試合開始。

問　総合公園管理事務所☎35-2233

粗大ごみ破砕処理場への持ち込み予約

土・日曜日と祝日に加え、8月13日(火)～16日(金)は事前予約が必要です。29日(木)～31日(土)は休業します。予約方法など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

問　粗大ごみ破砕処理場☎22-4557

競輪場のイベント

ABEMA(アベマ)湘南バンク(久領堤5-1)。

光と噴水と音のショー　7月19日(金)～21日(日)、午後6時30分～8時40分のレース間。

お笑いステージ　お笑い芸人のジョイマン(左写真)によるライブです。20日(土)午後4時45分・6時55分。大テント下ステージ。

トークショー　イメージキャラクターの篠崎愛さんが登場します。21日午後6時30分。大テント下ステージ。8時40分からはプレゼンターとして表彰式に登場します。

打ち上げ花火　21日。表彰式前。荒天中止。

問　事業課☎21-3935

夏休み子どもわくわくフェスタ

市民活動団体によるワークショップなどがあります。

7月27日(土)午前10時～午後2時30分。市民活動センター(見附町1-8)など。

問　協働推進課☎21-9618

競輪の体験型イベント

4Dで競輪を体験できるブースや福祉車両・パネルの展示による社会貢献活動の紹介ブースがあります。

8月3日(土)・4日(日)、午前10時～午後5時。荒天中止。ジ　アウトレット湘南平塚(大神8-1-1)。

問　事業課☎21-3935

農地の適正管理

耕作していない農地を放置すると、有害鳥獣のすみかになるなど、生活環境に悪影響を及ぼします。草刈りなどの自己保全や、農業委員会の仲介で新たな耕作者に貸すなどしてください。

農地利用状況調査　農地の利用状況を総点検するため、8月上旬～9月中旬に農地をパトロールします。

問　農業委員会事務局☎21-9851

パリ2024オリンピック 平塚市ゆかりの選手を応援しよう！

平塚市出身の眞野(まの)秀成選手(競泳)、市内に本社がある横浜ゴム所属の池江璃花子選手(競泳)、東海大学卒業の永山竜樹(りゅうじゅ)選手、橋本壮市選手、村尾三四郎選手、ウルフ・アロン選手(柔道)、小野寺太志選手、深津旭弘(あきひろ)選手(バレーボール)、笠原謙哉選手(ハンドボール)、湘南ベルマーレひらつかビーチパーク by shonanzoenが活動拠点の長谷川暁子選手(ビーチバレー)が出場します。各選手の活躍を応援して、オリンピック・パラリンピックを盛り上げましょう。

問　スポーツ課☎31-3060

湘南ベルマーレホームタウンデー

ホームゲームを観戦しませんか。市内在住の方を対象に、試合のチケットを特別価格で販売します。湘南ベルマーレウェブ(2次元コード)で、7月20日(土)正午から、販売します。

レモンガススタジアム平塚(大原1-1)。市内在住の小学生はドリームパスポート、中学生はベルマーレ中学生パスポートを使うと無料で観戦できます。

問　湘南ベルマーレ☎25-1211

健康と福祉

応募方法は4面

パートタイム会計年度任用職員

採用は10月1日(火)。選考。保育士(ローテーション)15人、保育士(早番)7人、保育士(遅番)6人、子育て支援員6人、保育園調理・用務作業員2人。選考方法など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

募 市ウェブや本館1階の保育課☎21―8555にある申込書などを、本人が直接、7月19日(金)～31日(水)に、**各公立保育園・認定こども園**へ。

パソコン・スマホワンポイント相談

①7月30日からの毎週火曜日、午後3時・4時②8月1日からの毎週木曜日、午前9時30分・10時30分(各時間帯1時間)。生きがい事業団(西八幡1―3―2―2)。各時間帯1人(先着順)。筆記用具、お持ちの方はパソコン・スマートフォン。1000円。

募 **必要事項**・希望日時・相談内容(スマートフォンの場合は機種名も)を、電話・ファクス・メールで、**生きがい事業団**☎33―2335 FAX35―1744 メールh-ikigai@ma.scn-net.ne.jpへ。

視覚障がい者スマートフォンサポーター講習会

音声読み上げ機能など、アイフォーンの操作方法や、視覚障がい者への支援のポイントなどを学びます。

8月28日(水)午後1時30分～4時。福祉会館(追分1―43)。市内在住・在勤・在学の方10人(先着順)。アイフォーン(貸し出しは5人まで)・筆記用具。

募 電話または直接、**福祉会館**☎33―0007へ。

福祉学習指導者の養成講座

市内の小・中学生、高校生らに向けて、車いす体験などを指導するボランティアになりませんか。

8月16日(金)午前10時～正午。福祉会館(追分1―43)。市内在住で、介護福祉士・訪問介護員などの資格があり、介護事業所・福祉施設での実務経験がある方5人(先着順)。筆記用具。

募 電話または直接、**福祉会館**☎33―0007へ。

わかちあいの会

大切な方を自死(自殺)で亡くされた方の集いです。参加者同士がプライバシーに配慮しながら交流します。

8月6日(火)午後2時～3時30分。旧横浜ゴム平塚製造所記念館(浅間町1―1)。

問 **福祉総務課**☎21―8779

認知症予防教室

認知症予防の話と、頭の体操と運動を組み合わせた認知症予防運動をします。

8月30日(金)午後1時30分～3時。松が丘公民館(東中原2―17―19)。市内在住・在勤で65歳以上の方または家族20人(先着順)。筆記用具・飲み物・マスク。動きやすい服装でお越しください。

募 電話で、**高齢者よろず相談センターまつがおか**☎35―4465へ。

親族後見人のための講習会・交流会

親族の後見人や後見人になる予定の方に向けた講座です。後見人の役割などを司法書士が説明した後、交流会を開きます。

9月4日(水)午後2時～4時。平塚栗原ホーム(立野町31―20)。市内在住の方20人(先着順)。筆記用具。

募 **必要事項**を、電話・ファクスで、7月22日(月)午前9時から、**市成年後見利用支援センター**☎35―6175 FAX63―3377へ。

市民後見人の養成講座事前説明会

10月から開く、市民後見人養成講座の受講を希望する方は、必ず参加してください。

8月29日(木)午後1時30分～3時30分。平塚栗原ホーム(立野町31―20)・ウェブ(Zoom)。市内在住・在勤・在学で15歳以上の方、各参加方法50人(先着順)。筆記用具。

募 参加方法(会場またはウェブ)・**必要事項**(ウェブ参加はメールアドレスも)・手話通訳の希望の有無(在勤・在学は勤務先・通学先も)を、電話・ファクスで、7月22日(月)午前9時から、**市成年**

定額減税の調整給付などが始まります

対象の方には、7月下旬から順次案内を郵送します。内容を読んで必ず手続きをしてください。手続きは郵送・オンラインでできます。詳しくは市ウェブをご覧いただくか、お問い合わせください。

調整給付金　令和6年分の所得税または令和6年度分の住民税で定額減税しきれないと見込まれる方。

物価高騰重点支援給付金　令和6年度に新たに、住民税が非課税になる世帯または住民税均等割のみ課税になる世帯。

問 **給付金コールセンター**☎0120-611-691

振り込め詐欺などにご注意ください

子どもの健康 8月

保健センター(東豊田448-3)。母子健康手帳をお持ちください。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

問 **健康課**☎55-2111

◆母親父親教室(予約制)

★快適マタニティライフ編　9日(金)午前10時30分～午後1時30分。妊娠中の方と家族20組(先着順)。歯ブラシ。500円。動きやすい服装でお越しください。

★赤ちゃん誕生準備編　30日(金)午後1時30分～3時30分。妊娠8カ月以降の方と家族24組(先着順)。市ウェブで申し込んでください。

◆乳児の個別健康診査　4カ月児・8～10カ月児。医療機関へ申し込んでください。医療機関の一覧は、市ウェブや保健センターにあります。

◆産後ルーム　ママはぐ(予約制)

食事の提供があります。23日(金)午前10時～午後1時。4カ月以内の乳児がいる初産婦で、育児に不安がある方ら16組(初めての方を優先)。500円。

◆歯っぴい　はみがき教室(予約制)　歯の手入れ方法を学びます。

★準備期編　8日(木)午前10時～11時。8カ月児～1歳0カ月児。

◆離乳食・幼児食教室(予約制)　各20組(9カ月児～1歳6カ月児は15組)。100円。

★5・6カ月児　5日(月)午後1時30分～2時30分。

★7・8カ月児　21日(水)午後1時30分～2時30分。

★9カ月児～1歳6カ月児　26日(月)午前10時30分～11時45分。

◆7カ月児(令和6年1月生まれ)相談(予約制)　6日・20日の火曜日、午前9時～10時。

◆産後メンタルヘルス相談(予約制)　21日(水)午後。育児や生活の悩みなどがあり、主治医のいない方または家族3人(先着順)。

◆歯科健康診査(予約制)　7日(水)午後1時～2時30分、29日(木)午前9時～10時30分。2歳1カ月児～2歳6カ月児。

◆育児相談　7日・28日の水曜日、午前9時30分～10時30分。

広告

相続・土地活用・不動産で悩んでいませんか
夏のお役立ち相談会開催中！
7/19(金)～8/16(金)※火水祝を除く

1つでも当てはまったら申込ください
✓土地活用に悩んでる
✓売りたい土地がある
✓相続対策、何から始める？
✓不動産を相続する
✓立ち退き交渉に悩んでいる
✓子供に相続で負担をかけたくない
▲平塚駅南口より徒歩1分 平塚市八重咲町3-26グラース八重咲1階
■宅建業免許：国土交通大臣免許(16)第540号　■建設業許可：国土交通大臣許可(特・般-2)第5295号(一社)
■不動産協会会員(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟
お申し込み 受付代行：フジサンケイ企画　主催／積水ハウス
☎0120-505-470 (10時～17時 無休)
※希望日の3日前迄に申込　※日時の確認・確定のため主催から連絡あり。
WEB申込みはコチラ

年間8,000件の信頼 お客様満足度98%※1 業界初の上場企業※2
ご葬儀は サン・ライフ
ご相談・施設見学はいつでも承っております
※1当社ご葬儀後アンケートの総合評価で「良い」「やや良い」と答えた方の割合　※2冠婚葬祭互助会業界
わからないことすぐに聞ける

相談スタッフ
24時間365日対応
コールセンター よい さい じょう
0120-41-3140

ご相談お受けします
福祉用具レンタル
福祉用具販売

人と心を大切にする
株式会社フロンティア
平塚営業所 ■住所：平塚市めぐみが丘2-5-3 ■TEL：0463-56-0320

寺子屋特別教室に行こう！

生きがい事業団（西八幡1-3-2-2）。先着順。

①筆ペン入門　ミニうちわに、筆ペンで好きな文字を書きます。7月29日（月）午前9時30分～11時30分。10人。筆ペン。1,200円。

②大人向け　ペン字入門　バランスの取れた文字の書き方を学びます。8月5日（月）午前9時30分～11時30分。10人。水性ボールペンまたは万年筆。1,000円。

③大人向け　デッサン入門　デッサンを描くコツを学びます。7月30日（火）午後1時30分～3時30分。7人。鉛筆・消しゴム。1,200円。

④大人向け　帯で作るバッグ　トートバッグを作ります。8月1日（木）午後1時～4時。市内在住の方10人。裁縫道具・筆記用具。1,800円。

⑤パソコン超初心者教室　パソコンの基礎操作やワードでの文書作りを体験します。7月30日～8月1日、全3回、午前または午後。午前の部は9時30分～正午、午後の部は1時～3時30分。各部6人。筆記用具、お持ちの方はパソコン。3,600円。

⑥小学生書道（毛筆）　筆の持ち方や使い方を、ベテラン講師が丁寧に教えます（写真）。7月31日（水）午後1時30分～3時30分。市内在住の小学生16人。書道道具・半紙。1,000円。

募　**必要事項**・教室名（⑤は午前か午後・⑥は学年も）を、電話・ファクス・メールで、**生きがい事業団**☎33-2335 FAX35-1744 ✉h-ikigai@ma.scn-net.ne.jpへ。

後見利用支援センター☎35-6175 FAX63-3377へ。同センターウェブからも応募できます。

家族介護リフレッシュ

腰痛肩こり予防プログラムで、日頃の疲れを癒やしませんか。市内在住で家族の介護をしている方。抽選。

①7月30日（火）午前9時30分～午後0時30分。リフレッシュプラザ平塚（大神4-20-8）。6人②8月5日（月）午前9時30分～午後0時30分。南部福祉会館（袖ケ浜20-1）。6人③7日（水）午前9時30分～午後0時30分。西部福祉会館（公所868）。9人④8日（木）午前9時30分～午後0時30分。リフレッシュプラザ平塚。6人⑤9日（金）午前9時30分～午後0時30分。福祉会館（追分1-43）。12人⑥9日1時30分～4時30分。福祉会館。9人。

募　電話で、土・日曜日を除く各開催日の3日前までに、**福祉会館**☎33-3100へ。

ともに生きる社会かながわ推進週間パネル展

全ての人の命を大切にする社会の実現に向け、障がいへの理解を深めませんか。平塚支援学校と湘南支援学校の作品も展示します。

7月22日（月）～26日（金）、午前8時30分～午後5時（22日は1時から・26日は3時まで）。本館1階多目的スペース。

問　**障がい福祉課**☎21-8774

認知症サポーター養成講座

認知症の方との接し方や知識を学びませんか。講座修了後には認知症サポーターの証しのオレンジリングピンバッジがもらえます。

8月30日（金）午後1時30分～3時。中原公民館（御殿2-17-38）。市内在住・在勤の方20人（先着順）。室内履き・筆記用具・飲み物・マスク。

募　電話で、**高齢者よろず相談センターごてん**☎31-6957へ。

生きがいマルシェ

生きがい事業団の会員が作った、新鮮な野菜や手芸品などを販売します。

7月30日（火）午前9時30分～正午。生きがい事業団（西八幡1-3-2-2）。

問　**生きがい事業団**☎33-2335

お知らせ掲示板

艶笑派展（えんしょうは）

絵画や切り絵、書などの作品を展示します。

7月30日（火）～8月4日（日）、午前9時30分～午後4時50分（7月30日は1時から・8月4日は3時まで）。美術館（西八幡1-3-3）。

問　艶笑派の上原☎22-4446

We-写楽（ウィーしゃらく）　写真展

7月30日（火）～8月4日（日）、午前9時30分～午後4時30分（7月30日は正午から・8月4日は午後4時まで）。美術館（西八幡1-3-3）。

問　We-写楽の野島☎090-1548-5653

湘南芸術家協会展

8月14日（水）～18日（日）、午前9時30分～午後4時50分（14日は1時から・18日は4時まで）。美術館（西八幡1-3-3）。

問　湘南芸術家協会の大貫☎55-4695

グループアクリクス展

アクリル画を展示します。

7月21日（日）まで。午前10時～午後5時（21日は4時まで）。ギャラリー1045（明石町1-1）。

問　ギャラリー1045☎22-7625

吉田弘卒寿展

約30枚のアクリル画を展示します。

7月24日（水）～29日（月）、午前11時～午後5時30分（24日は1時から・29日は4時まで）。ギャラリー1045（明石町1-1）。

問　ギャラリー1045☎22-7625

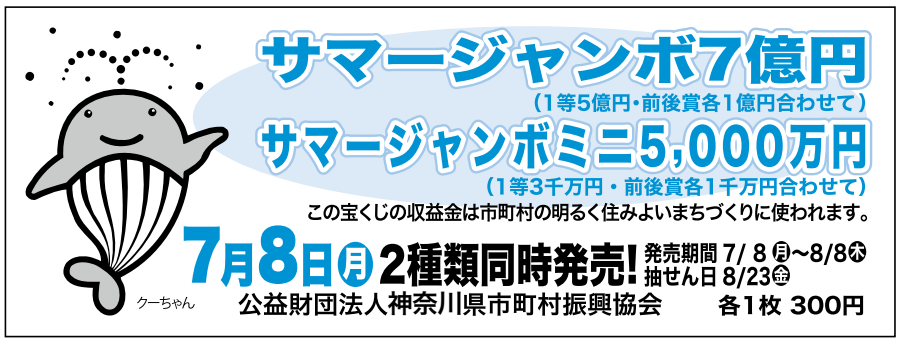
次回納期の市税・手数料

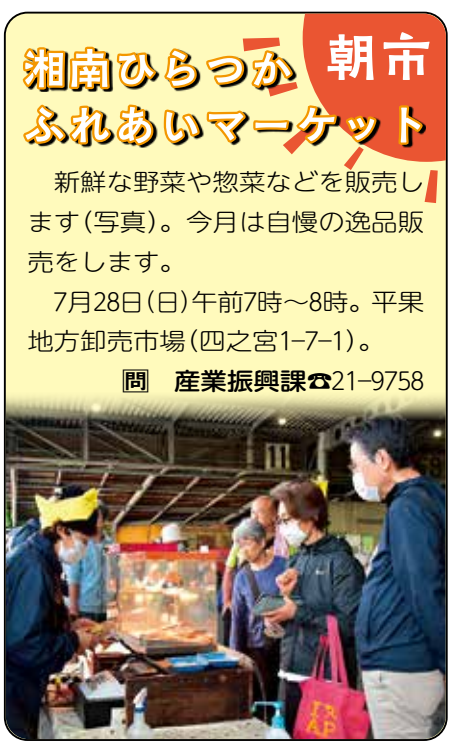
納期限　7月31日（水）

①固定資産税（第2期）
②国民健康保険税（第2期）
③後期高齢者医療保険料（第1期）
④介護保険料（第2期）
⑤清掃し尿従量手数料（第4期）

問　①**納税課**☎20-8216
②**保険年金課**☎21-8775
③**保険年金課**☎21-9768
④**介護保険課**☎71-5238
⑤**収集業務課**☎21-8796

広告





ひらつか
Topics

笑顔と飾りがまちを彩る

7月5日～7日に開かれた、湘南ひらつか七夕まつり。5日の「七夕おどり千人パレード」では、湘南ひらつか織り姫を先頭に、湘南スターモールを17組の団体が踊り歩きました。3日間で110万人が来場し、湘南スターモールと紅谷パールロードの七夕飾り約100本や、見附台公園周辺のイベントエリアの屋台などを楽しんでいました。

市長コラム

落合克宏

身近な環境の変化

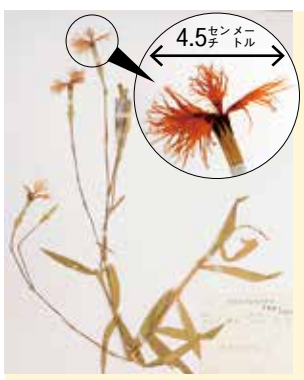
気温が高く雨も多いと、植物がぐんぐん成長します。時間のあるとき、汗をぬぐいながら庭の草刈りをしていると、昔はなかった雑草を見掛けるようになりました。

自然環境の変化による影響からなのか、雑草の中に繁殖力の強い外来植物が、増えているように感じます。ポピーに似たナガミヒナゲシ、とげのある堅い実のメリケントキンソウ、草丈が2メートルにもなるアメリカオニアザミなどは、繁殖力が強く、生態系への影響が心配される厄介物です。

私が小さい頃、庭や畑の周り、学校までの道端にあった日本古来の植物にも変化が表れています。例えば、ナズナは実の形の丸い外来種が、カントウタンポポはセイヨウタンポポとの雑種が多くなりました。外来植物の侵入など、周りの環境の変化により、在来植物は減少の一途をたどっているのです。

市博物館の調査によると、在来植物である市民の花「カワラナデシコ」は、平成11年6月に高根地区で自生が確認されたのが最後です。かれんに咲くピンクの花が、本当にきれいだったのを覚えています。

市内で自生するカワラナデシコは、目にしなくなったものの、標本（写真）として残されています。7月20日から始まる博物館の特別展「標本で！　植物観察」で見られます。所蔵する植物標本の中から、身近な植物など、約200点が展示されるそうです。姿を消した植物などを、昔を懐かしみながら、じっくりと楽しみたいです。皆さんにとってこの特別展が、地域の環境の変化を感じ、自然の大切さを考えるきっかけになったらうれしく思います。



広報紙をより良いものとするためにウェブアンケートを実施しています。右の2次元コードからご意見をお寄せください。